

令和4年度事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 法人の概要

名称 学校法人 松江幼稚園 (昭和56年4月1日法人設立)
理事長 石本 倫章
住所 和歌山市松江中3丁目1番35号
電話 073-453-0050 FAX 073-453-0099
設置校 まつえ幼稚園 (昭和24年10月1日創立)
役員 理事 12名、監事 2名 評議員 25名
理事会 3回開催 評議員会 2回開催
職員数 園長 1名
教頭 1名
主幹保育教諭 2名
学年主任 3名 教諭 19名 (内準正職6名) *育休1名
パート教諭 19名 添乗員 4名
事務長 1名
事務員 3名
委託職員 運転手 4名 調理員 6名 用務員 2人

2 事業の概要

(1) 教育方針

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和のとれた保育により、生きる力を身につけた子どもの育成をめざします。

(2) 事業内容

- ① 教育事業1号認定 (年長・中・少・満3歳) 教育時間9:00～15:00
- ② 保育事業2号認定 (年長・中・少) } 保育時間7:30～18:30 (標準)
3号認定 (1歳児・2歳児) } 8:00～16:00 (短時間)
- ③ 預かり保育・延長保育
- | | | |
|------------|-------|-------------|
| 1号 | 早朝 | 7:30～8:40 |
| | 保育終了後 | 15:00～17:30 |
| | 延長 | 17:30～18:30 |
| 2・3号 (短時間) | 早朝 | 7:30～8:00 |
| | 延長 | 16:00～18:30 |

(3) 事業報告

令和2年度から幼保連携型認定こども園となり、3年目を迎えました。

今までと同じ子ども主体の教育方針は変わらず、幼稚園と保育園両方の機能を併せ持ったことで、より保護者の要望に応えられる教育環境になったのではないかと考えます。

(4) 在園児数

令和4年度定員及び在園児数

	定員(人)		在園(人)		
	1号	2・3号	1号	2・3号	クラス数(クラス)
年長	100	20	68	38	4
年中	100	20	75	24	4
年少	100	20	50	28	3
満3歳児	20		33		2
2歳児		16		16	1
1歳児		12		12	1
0歳児		6		3	1

R5.3.1 現在

(5) 保育の計画性・保育の在り方

しつけの3大原則「挨拶をする」「履物をそろえる」「ハイとはっきり返事」が大切だと考えています。子どもたちが、いろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら、創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育しています。

(6) 教員の資質向上

学級担任は、日々研鑽して保育の質の向上を図るとともに、自己の保育の在り方について毎学期自己評価しています。また、幼稚園教育要領の内容である「5領域」を部会に分かれ研究し、毎学期発表しています。

5領域の各部会の研究テーマ		
	領域名	研究テーマ
1	健康	食育を通して子どもの食に関する意識を高め、食への意欲の変化を追う
2	人間関係	友達や保育者と一緒に活動する楽しさに気づいたり、やってみたいという子どもの気持ちの変化(成長)が見られるか追う
3	環境	数量、文字、図形などに興味を持てるような環境を与えることで、どのように遊びに取り入れていくか追う
4	言葉	言葉で伝える力がつくことで子どもの行動や気持ちがどう変化するかを追う
5	表現	音楽を通して、子どもたちの感性をはぐくみ表現する力が育っていくのかを追う

(7) 地域との連携

幼稚園や家族を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持っています。幼稚園・家庭・地域が連携しながら地域全体で子どもの育ちを支えていく必要があります。

- 地域交流…松江春日神社秋祭りへの参加 事前音楽会 松江地区避難訓練への参加
- 小学校交流…どんぐり拾い、学校見学

(8) 安全管理

- 毎月避難訓練(地震、火災、水害、津波、不審者侵入)を実施しました。
- 地域の避難訓練へ参加した後、保護者への引き渡し訓練を実施しました。

- 園の施設・設備・遊具等の安全点検を担当や週番が確認しています。
- 砂場は月に1回消毒しています。
- (9) 園で実施している各行事・活動
- 各学期に1つ大きな行事を実施しています。
 - ・ 1学期…運動会 ・ 2学期…発表会 ・ 3学期…音楽会
- 年2回「なかよしタイム」で、異年齢の活動及び体育的活動・音楽的活動・造形的活動を経験しました。
 - ・ 9月15日（木） ・ 2月16日（木）
- 「まつっこタイム」は、土曜日に保護者と一緒に楽しめるイベントです。年間5回実施しました。
 - 5月21日…先生たちの合奏、連弾を親子で聴きました。手遊びで遊びました。
 - 8月 6日…先生たちが考えたお化け屋敷を親子で楽しみました。
 - 11月19日…森農園に親子でみかん狩りに行きました。
 - 1月14日…牛乳パックを使って親子で工作しました。
 - 3月11日…垣内先生と親子で身体を動かしました。
- 未入園児対象の「あそぼう会」を年間5回実施しました。
 - ・ 6月18日（土）…46人参加 ・ 7月 9日（土）…38人参加
 - ・ 9月12日（月）…41人参加 ・ 10月15日（土）…57人参加
 - ・ 2月25日（土）…62人参加
- 未入園児対象の「まつっこ KIDS」「まつっこ BABY-KIDS」「まつっこ BABY」を実施しました。
 - ・ まつっこ KIDS…H31.4.2～R2.4.1 生まれの子ども対象で、23回/年実施しました
 - ・ まつっこ BABY-KIDS…R2.4.2～R3.4.1 生まれの子ども対象で、12回/年実施しました。
 - ・ まつっこ BABY…R3.4.2～R4.4.1 生まれの子ども対象で、11回/年実施しました。
- (10) その他

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況と経年比較

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
固定資産	801,921,375	814,447,193	755,421,791	751,731,862	582,828,389
流動資産	108,559,150	107,865,597	140,953,927	257,150,350	154,553,085
資産部の合計	910,480,525	922,312,790	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	4,856,468	4,056,201	6,598,551	142,890,522	11,624,199
負債の部合計	4,856,468	4,056,201	6,598,551	142,890,522	11,624,199
基本金	1,002,283,967	993,873,931	968,160,571	945,801,459	673,179,618
繰越収支差額	△ 96,659,910	△ 75,617,342	△ 78,383,404	△ 79,809,769	52,577,657
純資産の部合計	905,624,057	918,256,589	889,777,167	865,991,690	725,757,275
負債及び純資産の部合計	910,480,525	922,312,790	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474

② 資金収支計算書関係

収入の部	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
学生生徒等納付金収入	13,907,850	13,960,990	16,249,010	72,042,360	49,279,650
手数料収入	101,000	93,000	97,000	131,000	149,000
寄付金収入	518,000	481,000	712,710	588,000	530,000
補助金収入	291,885,460	238,657,715	227,490,284	222,344,602	58,627,300
資産売却収入	0	167,940	10,824	0	0
付随事業・収益事業収入	24,751,091	27,213,176	6,453,969	7,240,982	6,396,175
受取利息・配当金収入	1,103	1,452	204,740	7,902	7,827
雑収入	2,785,198	2,349,211	3,520,765	1,549,163	10,795,342
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	62,374,596	52,731,388	270,859,052	216,583,275	194,106,534
資金収入調整勘定	△ 67,608,036	△ 13,609,830	△ 9,092,850	△ 138,925,990	△ 52,060,700
前年度繰越支払資金	90,558,743	126,761,372	118,136,819	102,011,343	56,004,826
収入の部合計	419,275,005	448,807,414	634,642,323	483,572,637	421,780,354

支出の部	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
人件費支出	167,335,165	151,080,612	140,860,733	97,100,080	111,052,060
経費支出	156,778,511	83,470,306	69,686,152	54,618,965	48,253,369
借入金当利息支出	0	0	0	0	0
借入金当返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	6,042,270	22,215,747	20,370,255	271,572,400	63,561,600
設備関係支出	3,899,506	6,702,423	8,621,781	4,276,786	1,162,058
資産運用支出	3,899,506	50,001,376	56,104,833	4,836	4,827
その他支出	50,904,882	48,496,275	217,361,848	80,783,953	107,103,040
資金支出調整勘定	△ 4,107,864	△ 3,718,068	△ 5,124,651	△ 142,921,202	△ 11,367,943
翌年度繰越支払資金	38,421,571	90,558,748	126,761,372	118,136,819	102,011,343
支出の部合計	419,275,005	448,807,414	634,642,323	483,572,637	421,780,354

③ 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		令和4年度	令和3年度	令和2年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	13,907,850	13,960,990	16,249,010
	手数料	101,000	93,000	97,000
	寄付金	518,000	481,000	712,710
	経常費等補助金	291,885,460	238,657,715	227,490,284
	付随事業収入	24,751,091	27,213,176	6,453,969
	雑収入	2,785,198	2,349,211	3,520,765
	教育活動収入計	333,948,599	282,755,092	254,523,738
	事業活動支出の部			
	人件費支出	167,335,165	151,080,612	140,860,733
	経費支出	179,247,063	103,364,447	85,750,146
	徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	346,582,228	254,445,059	226,610,879	
教育活動収支差額	△ 12,633,629	28,310,033	27,912,859	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	1,103	1,452	204,740
	その他教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	1,103	1,452	204,740
	事業活動支出の部			
	借入金当利息	0	0	0
	その他教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	1,103	1,453	204,740	
経常収支差額		△ 12,632,526	28,311,485	28,117,599
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	167,939	0
	その他特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	167,939	0
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	6	2	4,332,122
	その他特別支出	0	0	0
	特別支出計	6	2	4,332,122
特別収支差額	△ 6	167,937	△ 4,332,122	
基本金組入前当年度収支差額		△ 12,632,532	28,479,422	23,785,477
基本金組入額合計		△ 8,410,036	△ 25,713,360	△ 25,017,357
当年度収支差額		△ 21,042,568	2,766,062	△ 1,231,880
前年度繰越収支差額		△ 75,617,342	△ 78,383,404	△ 79,809,769
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 96,659,910	△ 75,617,342	△ 81,041,649
(参考)				
事業活動収入計		333,949,910	282,924,483	254,728,478
事業活動支出計		346,582,234	254,445,061	230,943,001

4 今後の課題

《園児獲得》

子どもの減少により今後ますます園児獲得が課題となります。特に共働き家庭の増加により、幼稚園部の応募園児が減少傾向にあります。園児数を維持していくために、今後2・3号の定員増を検討する必要があると考えます。

《保育士の獲得》

全国的に保育士を志望する学生が減少していますので、保育士不足が課題です。本園は現時点では必要な人数は確保していますが、退職等により減ることも考えられます。十分な人数の保育士を確保する必要があると考えます。